

令和3年度 全国学力・学習状況調査（6年生）について

4月に6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、概要をお伝えします。この調査結果をもとに、児童一人ひとりが根気強く学習に取り組むことができるように引き続き取り組んでまいります

国語

<成果>「資料を用いた目的を理解する」「目的や意図に応じ、資料を使って話す」ことを問う問題において、正答率が全国や県の平均を上回っています。

<課題>「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」「主語と述語の関係をとらえる」「修飾と被修飾との関係をとらえる」ことを問う問題において、正答率が全国や県の平均を大きく下回っています。

※「県」とは、神奈川県を示しています。

算数

<成果>「道のりと時間の関係について考察することができる」「条件に合う時刻を求めることができる」他、比やグラフの知識を問う問題において、正答率が全国や県の平均を上回っています。

<課題>「求答のために必要な数値を選び、その求め方と答え」「小数を用いた倍について解釈し、基準量1のときに比較量が示された小数に当たる理由」を記述する問題において、無回答率も高く、正答率が全国や県の平均を大きく下回っていました。

生活・学習意識調査より

「学校に行くのは楽しい」と感じている児童は90%を超え、全国や県の平均を大きく上回っています。また、国語の学習に対する意識、地域行事への参加や参画への意識の高さも全国や県の平均を大きく上回っています。一方、家庭学習も含めて学校の授業以外で学ぶ時間が全国や県の平均時間より短く、「自分の思っていることを言葉で表現できている」と感じている児童が全国や県の平均を下回っています。

まとめ

算数に関しては、ほぼ全国水準の学力でしたが、国語は平均を下回る項目も多く、課題が多くあります。国語の学習への前向きな気持ちを、分かる実感の伴う「楽しさ」にできるよう、引き続き学校と家庭で連携し、基礎基本の定着に向けて指導してまいります。今後ともご家庭でのご支援とご協力をお願いいたします。